

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【公表番号】特表 2015-503514 (P2015-503514A)

【公表日】平成 27 年 2 月 2 日 (2015.2.2)

【年通号数】公開・登録公報 2015-007

【出願番号】特願 2014-549112 (P2014-549112)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

A 6 1 Q 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/06

A 6 1 Q 13/00 1 0 2

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 17 日 (2017.1.17)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 8】

#### 実施例 3

実質的に実施例 1 及び 2 による組成物が作られ、比較バッチ 1 を作るために必要な 1, 2 ヘキサンジオールと比較して、透明マイクロエマルジョンを作るために必要な式 I の特定の化合物の量において、溶媒効率が比較された。バッチ A ~ C は、比較バッチよりも効率的（式 I のそれぞれの化合物は必要とされる量がより少ない（バッチ A：フレグランスに於いて 0.68 ~ 0.8、バッチ B：フレグランスに於いて 0.69 ~ 0.89、バッチ C：フレグランスに於いて 0.69 ~ 0.7））であることが繰り返された。バッチ E はほとんど比較バッチ 1 と同程度であった。バッチ D、F、および G は、それほど効率的ではなく、バッチ F のみ、ゲルをもたらした。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 0】

#### 実施例 5

実質的に実施例 4 及び 2 による組成物が作られ、比較バッチ 1 を作るために必要な 1, 2 ヘキサンジオールと比較して、透明マイクロエマルジョンを作るために必要な式 I の特定の化合物の量の溶媒効率が比較された。バッチ A' ~ C' 及び E' は、比較バッチよりも効率的であること（式 I のそれぞれの化合物は必要とされる量がより少ない（バッチ A'：フレグランスに於いて 0.62 ~ 0.72、バッチ B'：0.85（1つのフラグランス）、バッチ C'：0.77（1つのフラグランス））が繰り返された。バッチ E' は比較バッチ 1 より優れている。バッチ D' 及び G' は不適格であった。バッチ A' とバッチ F' の混合は、比較バッチ 1 より効率的であった。